

環境インパクト 移動展覧会

プロデュース：デビッド・J・ワグナー・LLC

「環境インパクト」は、デビッド・J・ワグナー・LLC がプロデュースする移動展覧会です。特定の地域や地球全体規模の環境問題にフォーカスする主要な現代アーティストの作品を、取り上げ紹介し皆さんとの共有を目指します。また進行中の環境問題は、人間の作為や不作為・積極的行動や消極的黙認の結果ですが、展覧会はまた環境問題への国民の意識と関心の高まりを表象しています。芸術では一般に、最良状態の自然を輝かしい存在として描くのが伝統的でした。ところが移動展覧会「環境インパクト」が展示する 75 の作品（絵画・写真・版画・インスタレーション・彫刻等）は、伝統的芸術から距離を置いています。それは資源開発・大量生産大量消費の影響から、大規模な原油流出事故・原子力エネルギーの危険性・干ばつや飲用水資源枯渇・地球温暖化その他の、最近の人類や他の地球上の生命の存亡に影響が懸念される多くの事象を取り上げた作品ばかりです。

移動展覧会「環境インパクト」を実現するため、キュレーター/ツアーディレクターであるデビッド・ワグナーは広範な分野から、その作風から環境問題との関連が認められ、かつ 20 世紀の最後の四半期に芸術的注目を集めたアーティストを糾合しました。

初期の参加者は展覧会に招請した経験のある作家達、カナダの画家ロバート・ベイトマンや彫刻家レオ・オズボーンから始まりました。ケント・ウルバークの「プリンス・ウィリアム湾のためのレクイエム」などは、展覧会の趣旨を象徴する作品と言えます。今世紀最悪の生態系に対する人災であった、アラスカのエクソン・バルディーズ号原油流出事故の被害に思いを寄せた作品です。

オズボーンの彫刻「まだ聞いていない」も同一タイトルの詩に基づいた作品で、2010 年 4 月 20 日ディープウォーターホライズンでのオイルリグ爆発事故・その後のメキシコ湾での原油流出に向けられた、拭い去れない苛立ち・不満をテーマとした作品です。

ロバート・ベイトマンの「カルマナー・コントラスト」も、太平洋岸北西部で原生林が減少している事への危惧を、ポストモダン風に原生林と皆伐林画像を二段に分けて対比することにより描いた作品です。ベイトマンが 1989 年発表した「カルマナー・コントラスト」は「環境シリーズ」の第一作でした。1989 年ブリティッシュ・コロンビア州バンクーバー島に集まったアーティスト達の、原生林であったカルマナーの森が皆伐された実態を文書化するための集団的な努力の中で生まれました。彼らは自分達の仕事を公開する事でアートを通して、事態の深刻さを訴え環境意識を高める事でこの傾向に抵抗しようと団結しました。移動展覧会「環境インパクト」にはデビッド・ワグナーが過去に紹介したアーティストの中から、ガラス彫刻家で GMO（遺伝子組み換え生物）の影響をテーマにしたミック・メイラーン、イスラエルの芸術家で終末論的タッチで危険にさらされた原子力発電所を描いたウォルター・ファーガソンイスラエル、絵画「道端の謎めいた鳥の死骸」を 1980 年代半ばに発表したミシガン州のアーティスト、リック・パが出展しています。

展示会も回を重ねワグナーの考え方も発展して、彼自ら自身の環境芸術に関する知見を見直しました。そして彼は成長したばかりでなく、未知のアーティスト達によるエキサイティングな作品にも出会ったのでした。日本の彫刻家さやか梶田ガンツの、身近で集めたオブジェクトから制作した彼女の作品は堂々として輝いています。チェスター・アーノルド、クリス・ドイル、スコット・グリーン、そしてジュリー・ヘファーナンなど、サンフランシスコのキャサリン・クラーク・ギャラリーに代表される芸術家達の素晴らしい作品とも出会いました。他にも大勢の芸術家が同様に、有毒廃棄物問題から北極における地球温暖化の影響・大気や水の汚染・最近のミツバチの大群失踪・制御不能の山火事・在来種を駆逐する生息地での都市開発・野生生物の違法取引など幅広く取り上げて活動しています。数人の氏名をご紹介します。また全範囲に渡って多くの写真が展示されています。これはエドワード・ブルティンスク、ロバート・ドーソン、ピーター・ゴーイン、リチャード・ミズラック、ダイアナ・サンチェス、そしてマーティン・スチュピチなどの主要な写真家による写真の迫力や幅と奥深さに、キュレーター/ツアーディレクターのデビッド・J・ワグナーが感銘し訴求力に着目して展示したものです。

出展全アーティストは、次のとおりです。

出品作家

姓によってアルファベット順

アーノルド、チェスター、ソノマ、カリフォルニア州
ベイトマン、ロバート、フルフォード・ハーバー、ブリティッシュコロombia、カナダ
バーティンスキー、エドワード、トロント、オンタリオ、カナダ
チャペル、サンフランシスコ、カリフォルニア州
ドーソン、ロバート、サンフランシスコ、カリフォルニア州
デレイリス、ルチア、ウォータータウン、マサチューセッツ州
ドイル、クリス、ブルックリン、ニューヨーク州
ファーガソン、ウォルター・W、ベイト、イスラエル
フリーダ、ブリット、バートン、ワシントン州
ガンツ、さやか 梶田、横浜（現米国 インディアナ州）
ゴーイン、ピーター、リノ、ネバダ州
グリーン、スコット、ベルナリージョ、ニューメキシコ州
ハッケン、カレン、ポートタウンゼンド、ワシントン州
ハーヴェイ、ガイ、グランドケイマン、イギリス領ケイマン諸島
ヘッファーナン、ジュリー、ブルックリン、ニューヨーク州
ヘルサプル、メアリー、セドナ、アリゾナ州
ジョンソン、コール、デポジット、ニューヨーク州
キングスウッド、ロン、スパルタ、オンタリオ、カナダ
メイラーン、マイケル（ミック）、ピケット、ウィスコンシン州
ミズラック、リチャード、バークレー、カリフォルニア州
オズボーン、レオ、アナコーテス、ワシントン州
パス、リック、ラピア、ミシガン州
ロバートソン、デレク、バルメリノ、ファイフ、スコットランド
サンチェス、ダイアナ、ボゴタ、コロンビア（現米国）
サントラ、キャロル、ケネバンク、メイン州
スチュピチ、マーティン、アルバカーキ、ニューメキシコ州
ウルベルグ、ケント、コーパスクリスティ、テキサス州
ウォルター、バート、ウェストミンスター、メリーランド州
ウルフ、スーズ、シアトル、ワシントン州
(このリストは変更される可能性があります。)

注：リストは変更やアーティストが追加される可能性があります。

2013 年に世界一海拔が低く海面上昇に最も脆弱であると言われている国モルディブに旅したア

アーティスト 3 人組（ザリアフォアマン・リサ Lebofsky・ドリュエデニー）による作品の実物が、
展覧会に出展される予定です。

その他参加予定のアーティストは (<http://davidjwagnerllc.com/exhibitions.html>) 「環境
インパクト移動展覧会」デビッド・J・ワグナー・LLC 制作で確認してください。伝統的なアメリカ
野生動物アーティストでキュレーター／ツアーディレクターでもあるデビッド・J・ワグナーによ
れば、当サイトは環境問題に関して最良の入門参考書です。